

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

## ⑫ 公開特許公報(A) 平3-212355

⑬ Int. Cl.<sup>5</sup>B 65 D 33/10  
30/24  
33/16  
81/26  
81/28

識別記号

庁内整理番号

G  
B6833-3E  
8208-3E  
6833-3E  
7191-3E  
7191-3E

⑭ 公開 平成3年(1991)9月17日

審査請求 未請求 請求項の数 19 (全9頁)

⑮ 発明の名称 袋

⑯ 特 願 平2-5998

⑰ 出 願 平2(1990)1月14日

⑱ 発 明 者 溝 口 恭 子 岐阜県大垣市外瀬町4丁目1番地の3

⑲ 出 願 人 溝 口 恭 子 岐阜県大垣市外瀬町4丁目1番地の3

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

袋

## 2. 特許請求の範囲

1. シート材にて作られた袋に弁を装着し外部と内部の関係を調節することを特徴とする袋
2. シート材にて作られた袋に閉止弁を装着し外部又は内部を一方に閉止する事を特徴とする袋
3. シート材にて作られた袋に調圧弁を装着し外圧と内圧の関係を調節する事を特徴とする袋
4. シート材にて作られた袋に流量調整弁を装着し外圧と内圧の間に流体の流れを調整する事を特徴とする袋
5. 袋の一部に呼吸口を設け、呼吸口を通じて袋の開口又は呼吸口が弁の働きをする袋
6. シート材にて作られた袋にポンプを装着し外部と内部の関係を調節することを特徴とする袋

7. 前記特許請求項5の呼吸口に前記特許請求項1の特徴とする弁又は、前記特許請求項2の特徴とする弁又は、前記特許請求項3の特徴とする弁又は、前記特許請求項4の特徴とする弁の弁を設け、袋の全体または、部分または、弁の外部又は弁の上部を密封又は封鎖することを特徴とする袋

8. 袋の開口部の内側に接着材を塗布し接着材の上に折り返しに形成した封鎖シート又は折り目を設けた封鎖シート又はミシン目を付した封鎖シート等を置き、上記種々の封鎖シートを引き出した時、袋の内側より接着材が突出する事を特徴とした封鎖シート又はシートの取り付け法

9. 袋の内部に通気性シート又は、導気孔、導気溝を設けたシートを入れた事を特徴とする袋

10. 袋に取り付けられた弁の周囲に補強シート又は補強体を装着することを特徴とした袋

11. 弁を有した袋に釣具等を付けた事を特徴とする袋

12. 袋に突起部を設け、突起部に弁を装着することを特徴とした袋

## 特開平 3-212355(2)

13. 弁を有した袋に等り又は腐臭又は酸臭又は防虫等の剤、材等を有した袋

14. シート材にて作られた袋の開口部に複数の気密シールを設置した事を特徴とする袋

15. シート材にて作られた袋の開口部に複数の気密シールを設置し気密シールの間に弁を設置したことを特徴とする袋

16. シート材にて作られた袋の一部を切り導気口を設けることを特徴とした袋

17. シート材にて作られた袋の一部を切り導気口を設けた導気口を曲げることを特徴とした袋

18. シート材にて作られた袋の一部を切り導気口を設け導気口に特許請求の範囲第1項、第2項、第3項、第4項の特徴とする項を設けた袋

19. シート材にて作られた袋の一部を切り導気口を設け導気口を曲げて特許請求の範囲第1項、第2項、第3項、第4項の特徴とする項を設けた袋

## 3・発明の詳細な説明

-3-

請求項3にかかる袋は、袋の開口部を閉止し袋の一部に開圧弁を設置し、内部又は外部に一方に傾圧する状態となすものである。

請求項4にかかる袋は、袋の開口部を閉止し袋の一部に抽動調整弁を設置し、内部又は外部に一方に抽動調整する状態となすものである。

請求項5にかかる袋は、袋の一部に導気口を設け弁の役を行う状態となすものである。

請求項6にかかる袋は、袋にポンプを装着し外部と内部の気体、液体等を流動する状態となすものである。

請求項7にかかる袋は、請求項1から請求項5までの袋に全体又は部分又は弁の上等を密閉又は封鎖等をして気密をより計るものである。

請求項8にかかる袋は、袋の開口部に換気材を装布しその上に前開シートをU字状に設け、前開シートの一隅を引き出す事により、内部より換気するものである。

請求項9にかかる袋は、袋の中に通気性シート、導気孔、導気溝を設けたシートを入れた袋の内部空気を均一に吸出する状態となすものである。

請求項10にかかる袋は、袋の弁の周囲に前開シート

-5-

## （産業上の利用分野）

この発明は、日常生活に使用する袋に関するもので食品又は衣料等の包装、保蔵、利用時に使用する袋に関するものである。

## （従来の技術）

従来の袋は外部と内部の圧力変化に耐える考慮は無く包むだけの袋であった。

## （発明が解決しようとする課題）

食品保存には、真空保存が良く、又衣料の保管には防湿が良いのは、公知の通りである。しかるに各家庭でこれらの機能を付した袋を得る事ができなかったのを、各家庭で誰でも簡単に目的に応じた袋の提供を課題とするものである。

## （課題を解決するための手段）

請求項1にかかる袋は、袋の開口部を閉止し、袋の一部に弁を装着し外部と内部を遮断した状態となすものである。

請求項2にかかる袋は、袋の開口部を閉止し袋の一部に閉止弁を設け、内部又は外部に一方に閉止する状態となすものである。

-4-

を設け袋の変形を少なくした状態となすものである。

請求項11にかかる袋は、弁の装着された袋に針具を設けたものである。

請求項12にかかる袋は、袋の上面に突起部を設け弁の作動を容易状態となすものである。

請求項13にかかる袋は、弁を有した袋に等り、肌臭、除菌、防虫、乾燥、腐敗防止等の剤、材を有して多々の働きをなすものである。

請求項14にかかる袋は、シート材にて作られた袋の開口部に複数の気密シートを設置してより効果、より耐圧、より安全等を計り且つ利用範囲を広める事も出来る袋である。

請求項15にかかる袋は、シート材にて作られた袋の開口部に複数の気密シートを設置してより効果、より耐圧、より安全等を計り得る袋である。又気密シールの間に弁を設置して利用範囲を広める事も出来る袋である。

請求項16にかかる袋は、シート材にて作られた袋の一部を切り離した導気口を設けて換気に作動させる事ができる袋

-6-

## 特開平 3-212355(3)

請求項 17 にかかる装置は、シール材にて作られた袋の一部を切り離した導気口を任意の方向に曲げて通気をさせる事ができる装置

請求項 18 にかかる装置は、シール材にて作られた袋の一部を切り離した導気口を破けて自由に作動させる事ができる袋に請求項の範囲第 1 項乃至第 15 項の記載の袋を備えることにより、目的の効果を上げることができる。

請求項 19 にかかる装置は、シール材にて作られた袋の一部を切り離した導気口を任意の方向に曲げて通気を確保し、任意に作動させる事ができる袋に請求項の範囲第 1 項乃至第 16 項の記載の袋を備えることにより、目的の効果を上げることができる。

## (実施例)

以下、本発明の実施例を説明する。

第一図は特許請求項第一の発明の実施例で袋の一部に弁(2)を設け、開口部にファースナー又は接着材又はクリップ等で閉口し、内部と外部とを密封して行う。第二図は、特許請求項第二の発明の実施例で袋(1)

に通気孔(7)をあけ、弁(5)の一端を接着(4)して通気孔(7)を通して弁シート(5)を閉鎖通気を行う

第二図は特許請求項第二の発明の実施例の袋で第二図の弁の作動の開放状態を表したものである。

第三図は、特許請求項第三の発明の実施例で通気孔(7)を有した弁(8)に弁(8)を装着させる。前記弁座を袋(1)に装着させ、外圧と内圧の差を調整圧を行う。従って袋(1)に閉止弁、調整弁、減圧調整弁とを持つため袋、弁座、弁、通気孔の各々に形、形状、有方、組合せの方向が色々出来上がり、より効果的に圧力調整を行う事ができる。

第三図は特許請求項第三の発明の実施例の袋で第三図の弁の作動の開放状態を表したものである。

第四図は、特許請求項第四の発明の実施例で切り目又は合わせ目(9)を有した弁(8)を袋(1)に装着させ、外気と内気の間を気体の流れを調整する。

この時、弁(8)を凹凸、色々な形状を持たせたり又弾力性の有る材料を使用したり又スリット、合わせ目

-7-

-8-

の状態により、よりよい流量調整の種々の作動を行えることが出来る。

第四図は特許請求項第四の発明の実施例の袋で第四図の弁の作動の開放状態を表したものである。

第五図は特許請求項第四の発明の上記第四図の実施例の切り目又は合わせ目(9)を有した弁(8)の上から見た平面図である。

第六図は特許請求項第五の発明及び特許請求項第七の発明の実施例で袋(1)の一部に仕切り(10)をいれて、導気口(19)を作る。袋(1)の開口部をファースナー又は接着材の密封シール(11)で遮断部を設けて遮断する。導気口(19)を通じて内部気体を放出するこの時導気口(19)が弁の働きを成す。又は導気口(19)の部分を形状させる。又は導気口に弁を設け、管状に設けさせて気体、液体の吸排を調節させる事ができる。

袋(1)の開口部の上縁及び導気孔の上縁をファースナー又は接着材又はクリップの密封シール(12)にて密封させて、外部と内部の流通を遮断する。従って内部の食品又は衣料等は外気との接触の遮断により腐

敗又は防虫等の各々の目的の保管又は保全を行う事ができるものである。

第六図は特許請求項第五の発明及び特許請求項第七の発明の実施例で第六図Gの断面図を表したものである。

第七図は特許請求項第十六、の発明及び特許請求項第十七の発明の実施例で袋(1)の一部に仕切り(25)をいれて、導気口を作る。導気口の部にミシン目又は切り目等を入れる更にミシン目等を挟み込む様にしてその側に導気口(28)の仕切り線に接続する仕切り線を設ける。袋(1)の開口部をファースナー又は接着材(27)等で遮断部を設けて遮断する。導気口(28)を通じて内部気体を放出するこの時導気口(28)が弁の働きを成す。又は導気口(28)の部分を形状させ又は導気口の部に弁を装着させて外部、内部に気体を吸排させる事もできる。

袋(1)の開口部の上縁及び導気孔の上縁をファースナー又は接着材又はクリップ又は張り付けシール(26)等にて密封させて、外部と内部の流通を遮断する。従って内部の食品又は衣料等は外気との接触の遮断に

-10-

## 特開平 3-212355(4)

より腐敗又は防虫等の多々の目的の保管又は保存を行うことができるものである。

第七図は特許請求項第十六の発明及び特許請求項第十七の発明及び特許請求項第七の発明の実施例で第七図1の導気口(28)はミシン目の切口(25)を設けて導気口(29)を一部袋(1)より切り離し、その導気口(28)を折り曲げて密封し袋(1)より導気口が上部に位置を保ち支体で袋(1)の補強を計り安定をはかったところの斜視図である。この袋を厚で電子レンジで仕掛け料理したとき、料理の汁等の液体の流出を防ぐことができる。又更に袋の角など又袋全体を任意に支える支持体等を使用することにより、本物の料理が袋から溢れる事が無く広範囲のメニューができる。補強体は袋に接着、または袋に接着、又は引っかける等にて固定したものと、フリーの形状のものと、固定、フリー両方兼ね備えたものがあるので用途によって使用する。

第八図は特許請求項第十五の発明の実施例で、シール材にて作られた袋(1)の開閉口部に複数に密封シール(11)(12)を設置して、複数の密封シール

(11)(12)の間に弁(2)を設置し、利用範囲を広めた袋(1)である。従って電子レンジにてこの袋(1)を使用すればより効果的、より便利に利用できる。つまり袋(1)に食品を入れ密封シール(12)をして、

そのまま電子レンジにて加熱を行っても、弁(2)の閉鎖作用にて安全に加熱でき、加熱後密封シール(11)を行えば保存効果を上げる事ができる。

第九図は特許請求項第八の発明の実施例で袋(1)の開閉口に接着材(16)を塗布し、その上にU字型に折った剥離シート(17)を接着して、その袋(1)より引いている剥離シート(17)の一部を引き出す事により、内部より接着することが出来るものである。第九図は特許請求項第八の発明の実施例で第九図1の剥離シートの取り出し動作を行っているところの図である。袋(1)の開閉口に接着材(16)を塗布し、その上にU字型に折った剥離シート(17)を接着して、その袋(1)より引いている剥離シート(17)の部分の一部をもって引き出しているところで、引出し終えれば内部より接着することが出来るものである。

-11-

-12-

第十図は特許請求項第八の発明及び特許請求項第九の発明及び特許請求項第十三の発明の実施例で袋(1)の開閉口に接着材(16)を塗布し、その上にU字型に折った剥離シート(17)を接着して、その袋(1)より引いている剥離シート(17)の部分の一部を引き出す事により、内部より接着することが出来る。又袋の内部に通気性シート、導気孔、導気管を設けたシート(13)をガイドとして入れれば内部の気体を弁より排出する時通気性シート、導気孔、導気管を設けたシート(13)の通気孔を通して弁より弁より排出できる。従って飲料(14)等が気体の排出によって一方にかたよることが無くそのまゝの形を保つ事ができる。

第十一図は第十の発明の実施例で弁の周へ補強シート(18)を接着させて補強した上部にガイド板、ガイド管等を設置して吸出しの補強をする。

この時弁の位置が剥離シート(17)の所にあっても補強材、補強シート(18)を接着する又は換えることにより、簡単に容易に且つ便利に剥離シート(17)を取り出す事ができる。

-13-

-14-

又弁(5)の周囲に補強材、補強シート(18)又はガイド板、管(15)を接着する又は換える事により、ポンプにて吸出しする時形成された補強材、補強シート(18)又はガイド板、管(15)が補強して容易に日常使用されている掃除機にて真空にする事ができる。

又更に香り、脱臭剤、除菌剤、防虫剤、腐敗防止剤、乾燥剤等又は香り、脱臭剤、除菌剤、防虫剤、腐敗防止剤、乾燥剤等を塗布、浸透したシート(13)を入れる事により香り、脱臭、除菌、防虫、腐敗防止、乾燥等の働きを成す物である。

十二図は特許請求項第十一の発明の実施例で弁を有した袋(1)の密封されている以外の上部の一部に穴(20)を設け釣り輪(19)を作り出した袋。第十三図は特許請求項第十一の発明の実施例で弁を有した袋(1)に引っ掛け型のフック(21)を装着(22)した、釣具を有した袋。

第十四図は特許請求項第十二の発明の実施例で袋(1)に突起部(23)を設け、突起部に(23)弁(2)を接着する。この袋を電子レンジで仕掛け料理したとき、

## 特開平 3-212355(5)

料理の汁等の流液等の漏出を防ぐことが出来る。又突  
起部の上部及び下部に弁を設けて使用すればポンプ  
等にて吸排品が容易に出来るものである。

第十五図は特許請求項十二の発明及び特許請求項  
六の発明の実施例で図(1)にポンプ(24)を装着  
し外部と内部の気体、液体等を流動させる状態となす  
ものである。ポンプ(24)はジャバラ構造を仕掛けす  
れば手動にて使用でき、且つ使用後は閉めて収める事  
が出来るため収納にも便利である。

第十六図は特許請求項第五の発明及び特許請求項第六  
の発明及び特許請求項第三の発明の実施例で図(1)  
の一移仕切り(10)をいれて、通気口(19)を作  
る。図(1)の開口部をファースナーは接着材の密  
閉シール(11)で遮断部を設けて遮断する。通気口  
(19)の一移仕切り、又は複数、又は重ね合わせた  
弁(6)を装着する更に開圧後に設て通気口の先端を  
密閉シール(12)で密閉したものである。

第十七図は特許請求項第一の発明及び特許請求項第二  
の発明及び特許請求項第三の発明及び特許請求項第四  
の発明の実施例で図(1)に閉止弁および逆止弁を設

けし、外部と内部の弁圧、内圧等の関係又は流量の関  
係を調節できるものである。なお閉止弁逆止弁を一体  
に製作して図に設けずればコストが安くなり且つスベ  
ースも少なくてすむ。

## 4. 図面の簡単な説明

第一図は本発明の第一実施例の後の斜視図

第二図a,bは本発明の第二実施例の後の断面図

第三図c,dは本発明の第三実施例の後の断面図

第四図e,fは本発明の第四実施例の後の断面図

第五図は本発明の第五実施例の後の平面図

第六図g,hは本発明の第六実施例の後の平面図、斜視  
図

第七図は本発明の第七実施例の後の平面図、斜視図

第八図は本発明の第八実施例の後の平面図

第九図i,jは本発明の第一実施例の後の断面図

第十図は本発明の第十実施例の後の断面図

第十一図は本発明の第十一実施例の後の断面図

第十二図は本発明の第十二実施例の後の平面図

第十三図は本発明の第十三実施例の後の平面図

-15-

-16-

第十四図は本発明の第十四実施例の後の斜視図

第十五図は本発明の第十五実施例の後の斜視図

第十六図は本発明の第十六実施例の後の斜視図

第十七図は本発明の第十七実施例の後の斜視図

19 釣り輪

21 フック

24 ジャバラポンプ

1 袋

2 弁

3 ファースナー

4 接着

5 弁シート

6 弁

7 通気孔

8 弁

10 仕切り

11 気密シール

12 気密シール

13 通気性シート

14 素材

17 切断シート

18 補強シート

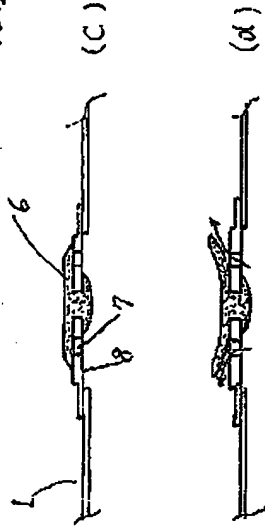
-17-

-18-

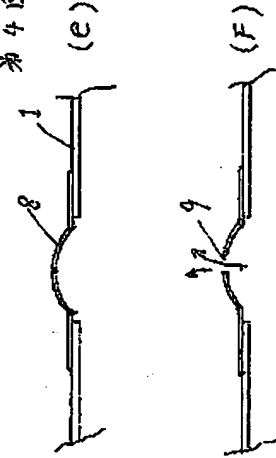
特許出願人 山口 敬子

特開平 3-212355(6)

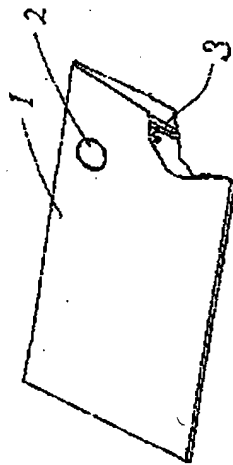
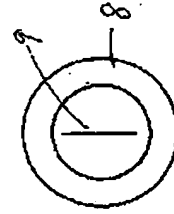
第3図



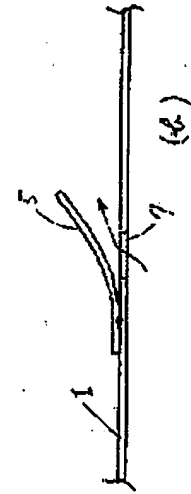
第4図



第5図

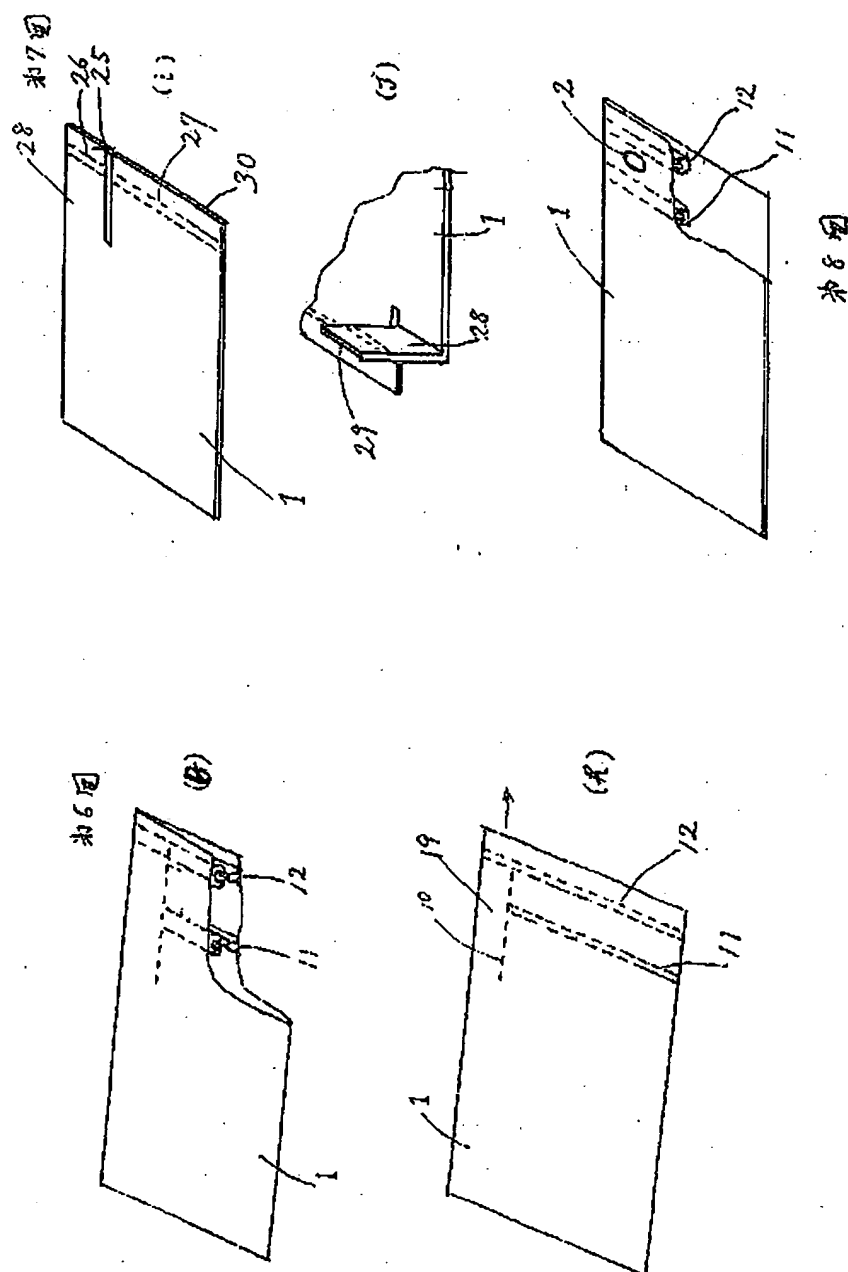


第1図

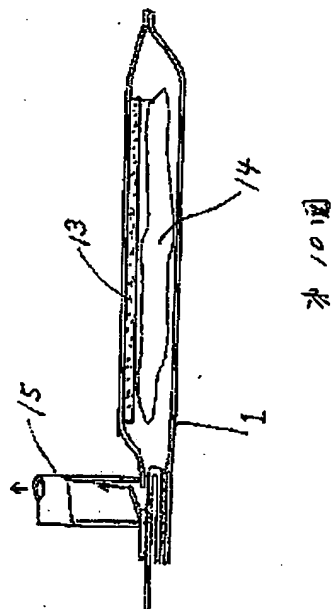
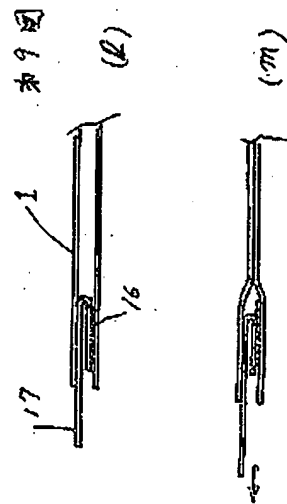
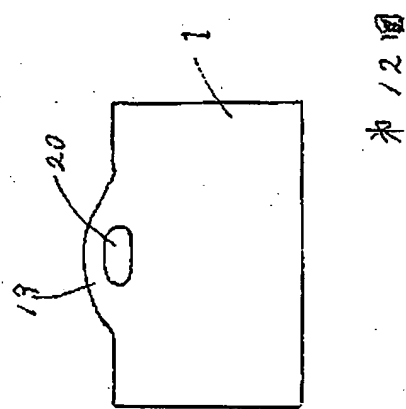
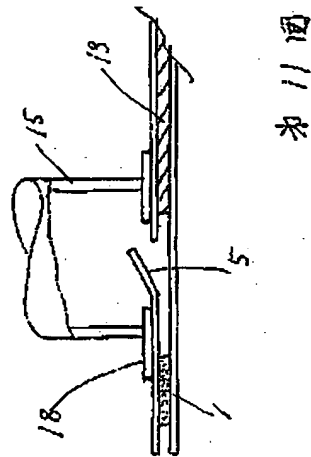


第2図

特開平 8-212355(7)

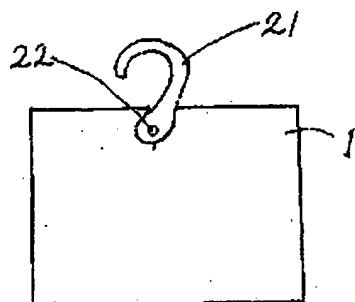


特開平 3-212355(8)

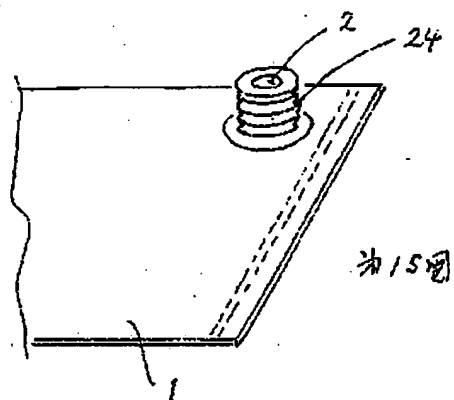




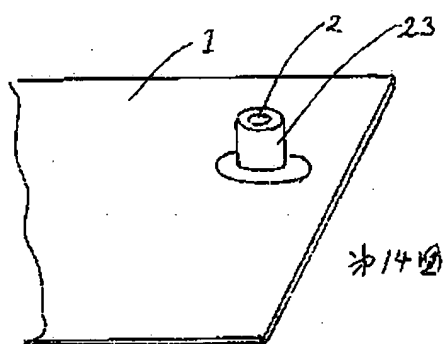
特開平 3-212355(9)



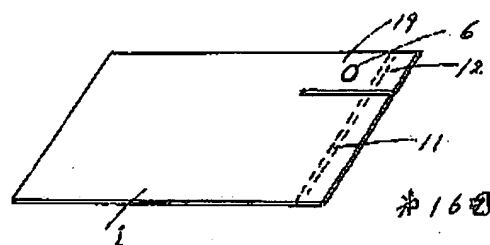
为 13 图



为 15 图



为 14 图



为 16 图



为 17 图